

原田車両設計株式会社（自動車部分品・附属品製造業／愛知県） 【2022年8月計画認定】

○CAD等ソフトウェアへの投資を進め、自動車分野の量産開発で蓄積された高い技術力やノウハウの強みと併せて、試作や小ロット量産体制を整備。量産開発以外にも、航空や福祉医療等の幅広い分野において、お客様のアイデアを基に製品化までのプロセスを一貫して提供。

○高難度案件にも挑戦する社風で、大手企業の次世代／パーソナルモビリティ開発案件に多数関与し貢献。受注獲得、技術力向上、人材育成の好循環を実現し継続的に体制強化。

○3Dプリンタへの投資を推進し、従来の方法に囚われない最適なモノづくりを提供。有志企業で「3D innovation hub」を結成し、3Dプリンタの課題共有と可能性を広域に発信することで、市場の活性化に期待。

<会社紹介> ※技術支援実績

本社外観



3Dプリンタ



次世代モビリティ



乗用人型変形ロボット「SR-01」
(外装パーツ：PP粉末材料 大型3Dプリンタ製)



<具体的な取組>

- CAD等への投資により設計開発部門を強化する傍ら、3Dプリンターや試作設備等への投資を進め、設計開発とモノづくりの両体制を確立。最新設備への投資には中小企業経営強化税制を活用。
- 次世代モビリティ開発PJに多数参加し技術力を向上。近時は、制御系ソフトウェア開発に注力し、将来的には自動運転車両ソフトウェア開発など幅広い事業領域への展開を目指す。
- 金属／樹脂造形を揃え、高い造形技術を活かして、短納期・低コストでの製品提供を実現。今後も、魅力的なコンテンツの3Dデータを収集しながら、3Dプリンターによる新たな事業展開を計画。